

仙台大タレント発掘・育成事業への取り組み 傍聴記

相澤 勝治 (文学部准教授)

仙台大タレント発掘・育成事業への取組みについて、粟木教授により紹介がなされた。現在、国内では 13ヶ所のタレント発掘・育成事業が行われている。仙台大学では、タレント発掘・育成事業 (和歌山県、山形県、岩手県、宮城県)、イベント型事業 (上川北部、長岡市、天童市) に取り組んでいる。これらの事業では、受講生である子ども達が「自ら考え行動する」ことができる主体性のあるスポーツ選手の育成を目指した「グローバルスポーツ教育プログラム (GSEP)」を提供しており、その活動内容について紹介頂いた。

<グローバルスポーツ教育プログラム>

グローバルスポーツ教育プログラムは、競技力を向上させる上で欠かせない要素である「円滑な人間関係を構築することやチームの中で自分の力を発揮する能力」、「問題を発見・解決する能力」、「自分を見つめる能力」を高めることができるように、座学だけでなく、ゲームやグループワークなどを通して体験的に学ぶプログラムとして構成されている。その中でも「コーチングマインド」がキーワードとして挙げられ、(1) コミュニケーションの構築、(2) 課題発見能力、(3) 自己管理、の視点からプログラムが展開されている (図1)。

また、本プログラムはトップアスリートを目指すためのロードマップに基づいて事業が進められており、5つのフェーズに分けられ、Team 結成、スポーツを楽しむ力、スポーツから学べる力、トップスポーツにかかわる力、スポーツを守り発展させる力、の観点から様々なプログラムが展開されている (図2)。例えば、フェーズ1では、グループワーク形式を用いて仲間を知ることによってスポーツを楽しむ基礎を築くことをねらいとしたプログラムが紹介された。本プログラムの介入効果に関して、自己管理能力、対人関係能力、自己研鑽能力因子がプログラム介入を通して改善

することが明らかとなった。今後は、ライフスキル尺度等の指標を用いて詳細に検討し、グローバルスポーツ教育プログラムの事業展開とその効果検証をさらに進めていく方向性が示された。

<引用>

図1、図2：仙台大学スポーツ情報マスメディア研究所 (ISIM)

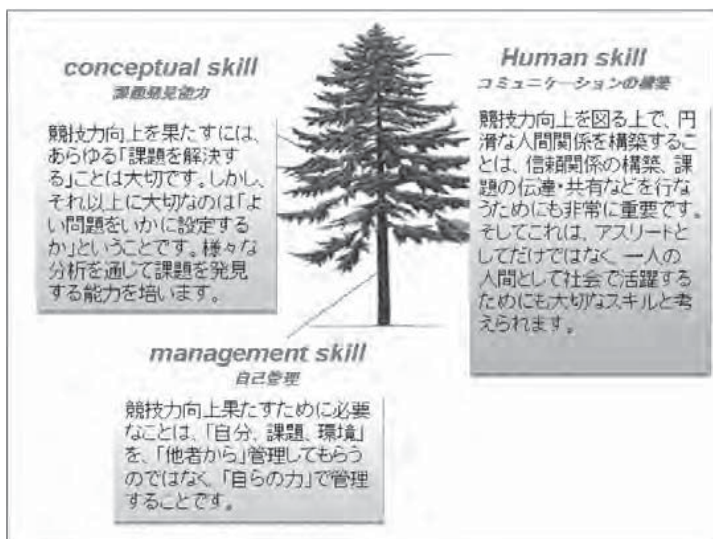


図1 グローバルスポーツ教育プログラムの概要

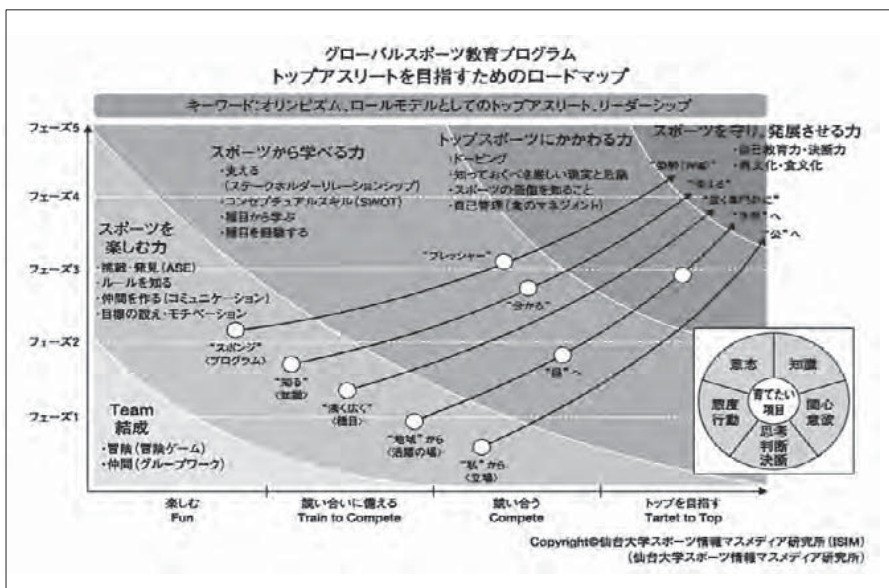


図2 トップアスリートを目指すためのロードマップ